

市民の安全・安心を守る



9月市議会にあたっての清水勇人市長あいさつ

■九都県市合同防災訓練

9月1日に、さいたま市直下地震を想定して、第46回九都県市*1合同防災訓練を実施しました。

訓練を通じて、本市を始め首都圏の皆様の防災・減災への意識の向上、参加部隊等の技能の向上、九都県市各自治体と御参加いただいた関連団体との連携体制の一層の強化を図ることができたと考えております。

■家計負担軽減策

昨今の物価高による市民生活への影響を受け、先月下旬から、特に影響を受けやすい子育て世帯に対しては給付金を支給し、また、高齢者を含む全ての世代に対してはデジタル地域通貨を活用した家計負担軽減策を順次開始しました。

■中国河南省 鄭州市訪問

来年、友好都市提携45周年を迎える中華人民共和国・鄭州市との交流・友好関係を図ることを目的として、同市を7月23日から26日にかけて訪問しました。

現地では、伊藤議長と共に、鄭州国際友誼公園で記念植樹を行い、鄭州市長を表敬訪問し、今後の交流について意見交換を行いました。

■ASEANフォーラム

8月11日から14日にかけて、マレーシア・クアラルンプール市とジョホール州を訪問しました。

クアラルンプール市では、ASEAN*2フォーラムに参加し、同市主催の「持続可能な都市とコミュニティ」をテーマとしたセッションに登壇しました。

また、クアラルンプール市とは、これまで築いてきた友好関係の継続と、脱炭素化の取組の更なる深化に向けた、新たな文書を取り交わしたほか、ジョホール州では、同地の公営企業である「ジョホール・サステナビリティ・センター」との連携文書の締結に向けた合意に至ったところです。

■世界の恒久平和実現に貢献

本年は戦後80年であり、「さいたま市平和都市宣言」の制定から20年となる節目の年です。

8月には、「平和祈念講演会」や「広島への中学生平和学習派遣事業」を行うなど、平和推進に関する事業を例年より拡大して実施しております。

私も、先月9日に長崎市を訪れ、平和祈念式典に参列し、平和首長会議に出席しました。

これからも平和都市宣言に基づき、世界の恒久平和実現に貢献するべく、取り組みます。

■本市児童生徒の自己肯定感の高さ

7月31日に、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が公表され、小・中学校ともに全国平均を上回る結果となりました。また、「自尊意識」*3に係る質問項目、「自分には、よいところがあると思う」という項目で、小・中学校ともに肯定的な回答をした割合が94%を超えており、本市の児童生徒の自己肯定感の高さがうかがえます。

この結果は、教育都市としての本市の大きな魅力や誇りであると考えております。

■夏の風物詩

今年も夏の風物詩である夏祭り及び花火大会を開催しました。真夏の夜空を鮮やかに彩る多種多様な花火、夏の暑さを吹き飛ばすような活気、皆様の笑顔が大変印象的でした。

■大阪・関西万博に出展

9月17日から21日にかけて、大阪・関西万博に出展します。

本市の伝統産業である大宮の盆栽と岩槻の人形を展示し、盆栽・人形のある暮らしの提案を行うなど、大宮盆栽の魅力や岩槻の人形のすばらしさを国内外へ発信してまいります。

さいたま市長 清水 勇人

（2025.09.03さいたま市議会本会議場）

県民公論のマスコット



*1 九都県市

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

*2 ASEAN

（東南アジア諸国連合）

ASEAN(アセアン)とは、東南アジア地域の国々が加盟する地域共同体。

加盟している国はブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム。

ASEAN+3は、上記国に日本、韓国、中国の3か国を加えた13か国。

*3 自尊意識

自尊意識とは、心理学において「セルフ・エスティーム」とも呼ばれ、自分自身を価値あるものとして尊重する感覚や、自己に対して肯定的な評価を抱えている状態を指します。

この概念は、他人からの評価ではなく、自分が自分をどう思うか、感じるかという内面的な自己評価が重要とされています。自尊意識は、人格形成や情緒の安定に不可欠な感情であり、自分自身を信頼し、様々な事柄に前向きに取り組む意欲や満足感につながります。